

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.7.19

No. 32

気働きが出来るか



「今の若い者は言われたことしかできないものが多い。自分でそれ以上のことを考え様としない」。企業回りをしている際こんな話を企業の方からしばしばお聞きします。皆さんはどうでしょうか。

世の中に出ると、学校のテスト問題のようにあらかじめ答えが分かっていることは少なく、その場その場で自ら考えながら対応していかななくてはならないことが多いものです。例えば先の東日本大震災の復興をどうしたらよいかを考えてみてください。最適解はどこにもありません。皆が知恵を出し合いながら解決していくより仕方ありません。その場で誰かに「次はどうしたらいいですか」と聞きながら動いていたのではちががきません。まず自分だったらどうすることがよいかを考え、自ら行動したり、時にはその考えに対して他の人の意見を求めるというように、自分で考え自分で行動する姿勢が大切です。

会社に入っても同じことです。人の指示を待つのではなく、まず自分だったらどうすることがよいかを考えることが大切です。いつも受け身の姿勢でいるから、人の指示待ちになってしまうのです。確かに、自分の勝手な判断で行動したことで失敗をすることもありますが、それを防ぐ為には、「自分はこうしたいと思うがどうか」と人に確認することです。社会に出たとき、自ら気働きをしないと、使いものになりません。またそうしたものが有ればこそ新しいものが生まれてくるのです。皆さんも社会に出たとき少しでも自ら考え気働きが出来るよう日頃から心がけて欲しいものです。



受験勉強の対策をしっかりやろう

とりあえず企業見学の希望を出しましたが、これで安心してはダメです。これからが本番です。夏休み中に希望を出した何社かを見学し、最終受験をする企業を決めますが、その企業に合格できる実力を付けておかないと他校生との競争に勝てません。昨年不合格になった生徒の多くが「基礎学力不足」が理由でした。企業の入社試験で求められる基礎学力は、決してそんなに難しい内容ではありません。SPI2の問題がある程度解ければそれほど試験を恐れることはありません。就職試験までにもう一度 SPI2 の問題集を中心に基礎学力をしっかりと付けておくよう心がけましょう。



どんなに堅実に計画し、実行に移したとしても、一瞬ですべてが崩れることはある。

(まほろ駅前番外地、三浦しをん)

【コメント】

そもそも、万全の計画などない。

全力でやったからといって、必ず成功するという約束もない。

思い通りに

いかない時もあるから、といって、

最初から計画も立てず、なんの行動も起こさなければ、それも、また意味がない。

計画は破れても、今を精一杯生きる。努力した成果は必ず現れることを信じて。